

におさまり、会社はニガ笑ひ、友愛会の計画は圖に當つて、鈴木の大腹が一層ふくれる位なのだ。

昨年夏、續夫聯盟會足尾支部發會の當時、麻生君は何と云ふ演説をしたか。彼等が指導した従来の運動が失敗に終つたことを告白して、資本家及び官僚の暴力に對するに、労働者の暴力をもつてし、鐵に報いるには鐵拳をもつてする。直接行動は唯一の勝利の戰法だと云ふたではないか。

その様に宣言した同一人が、直接行動を起すに最適の機械である今日、その方針には出でずして、幾度か繰り返して幾度も失敗を見たことを今またやつてゐるとは何事か。古河のカ、アに哀願したり、本場の足尾を空にして東京で示威運動をやるなど、呑気なことを云つたり、また鈴木文治君などが警視廳や古河に頭を下げに行つたり、そんなことが何の直接行動か。してみれば最初から諸君を欺くつもりか乃至は今となつておぢ氣付いたのが、勇敢にして誠意ある麻生君よ、夫れともおそまきながら自ら直接行動の先頭に立つて打死する氣はないか。

直接行動！夫れは諸君に発せられたる唯一の活路である。最大の武器である。穴ゴメサレたるダイナマイトが山を裂き岩を砕く如く、資本主義制度は諸君の直接行動の前に破砕せらるゝであらう。敵は諸君を蹂躙せんとして目前にあり、今や躊躇すべき時に非ず。足尾六千の續夫諸君よ、何ぞ一齊に立つて敵に殺倒し、之を焼き之を屠らざる。

歐洲の天地を見よ、天をこがす革命の火は、一切の舊制度、舊権力を焼きつくしつゝあるではないか。ロシアに於てドイツに於て、新しき労働者の天地は既に建設せられたではないか。日本全國の労働者は今や革命を熱望しつゝある、諸君にして革命の第一烽火をあげたならば、彼等は義然として之に應じ日本革命史の第一頁は茲に開かれるであらう。

國家社會黨 宮本市藏

神戶雷芝

労働者諸君に檄す (原文のまゝ)

諸君よ！如何なるものでも世の中に生存して居る以上、生きんが爲には喰はねばならぬのだ。小さな虫、小さな蟻に至るまでも、まして人間に於てをや。喰ふは當然の權利である。若しも諸君に對して喰はずに居よと言ふ奴あらばそれは死せよと言ふに外ならぬ。熱烈な諸君よ！兎や角の外面的言語には信を置かず一踏直ちに目的貫徹に努めよ！

四月十七日

運動本部

▽第二回の會見まで

十六日午後より十七日一日は佐々木氏と麻生氏が互の腹藝の日なりき。麻生氏は十人の委員と佐々木氏と會見せしめ、自ら十委員の後見として解決の交渉をなさんと主張し、佐々木氏は之を留保せる十六日の會見後、兩者の間に表面的の溝渠を生じたり。佐々木氏は十六日夜に亘りて鑛業所側役員を集めて、會議を開きたる結果、「佐々木一個が個人として事件を纏めようと云ふ事にすら大反對があつて困つて居る。何時此次の會見が出来るやら今のところ豫想もつかぬ」と稱し、一方鑛業所は再び御注意書を配付し「十一日以後就業せぬ人には臨時定額をつけません」とて愈米味噌等一切の物資を罷業者に供給せざることを公表したり。

之に對し組合側も十六日小瀧に於て前記の如き力づくの示威を試み飽まで闘志あるを見せたり。